

製品名: フィブリノーゲン γ 鎖 (3Z7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10971**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	52kDa

抗原情報

遺伝子名	FGG
別名	FGG; Fibrinogen gamma chain;
遺伝子 ID	2266.0
SwissProt ID	P02679
免疫原	ヒトフィブリノーゲンガンマ鎖の合成ペプチド

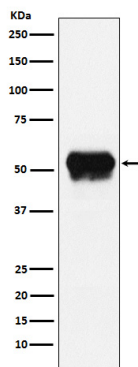
背景

フィブリノゲンには、フィブリンに重合するモノマーを生成することと、血小板凝集の補因子として機能することという2つの機能があります。フィブリノゲンアルファ (FGA) およびフィブリノゲンベータ (FGB) とともに重合して不溶性のフィブリンマトリックスを形成します。血栓の主成分の1つとして、止血において主要な機能を果たします。さらに、創傷修復の初期段階では、病変を安定させ、再上皮化の際に細胞の移動を誘導する働きがあります。抗凝固血液を使用した *in vitro* 研究に基づき、当初は血小板凝集に必須であると考えられていました。しかし、その後の研究では、*in vivo* での血栓形成に必ずしも必要ではないことが示されています。ITGB3 依存性経路を介して、活性化血小板の SELP の発現を促進します。母体のフィブリノゲンは、妊娠の成功に不可欠です。フィブリン沈着は感染症にも関連しており、IFNG を介した出血から保護します。また、自然経路と T 細胞媒介経路の両方を介して抗菌免疫反応を促進する可能性もあります。

研究分野

-

画像データ



ヒト血漿溶解物中のフィブリノーゲン ガンマ鎖発現のウェスタン ブロット分析。